

しずい広報

昭和56年11月1日発行 (第167号)

町の人口と世帯数

9月30日現在の人口	9月中の人口異動
男 4,883人	出生 13人
女 5,347人	死亡 8人
計 10,230人	転入 57人
世帯数 2,761戸	転出 31人

発行者 泗水町役場 TEL⑧2111



写真はミナミニシキの実り (泗水町高江でうつす)

もくじ

- 55年度一般会計決算…2
- 55年度特別会計決算のあらまし…4
- 職員異動のお知らせ…5
- 役場機構紹介…6
- 20才ですよろしく…9
- 部落紹介シリーズ (富出分)…11



実るほど 頭をたれる稲穂かな
 稲のみのりにわが心をさすものと
 し、うまく詠まれた句です。

本町の今年の稲作の作付面積は四三
 五ヘクタールで、生産調整は一八五ヘ
 クタールが実施されました。

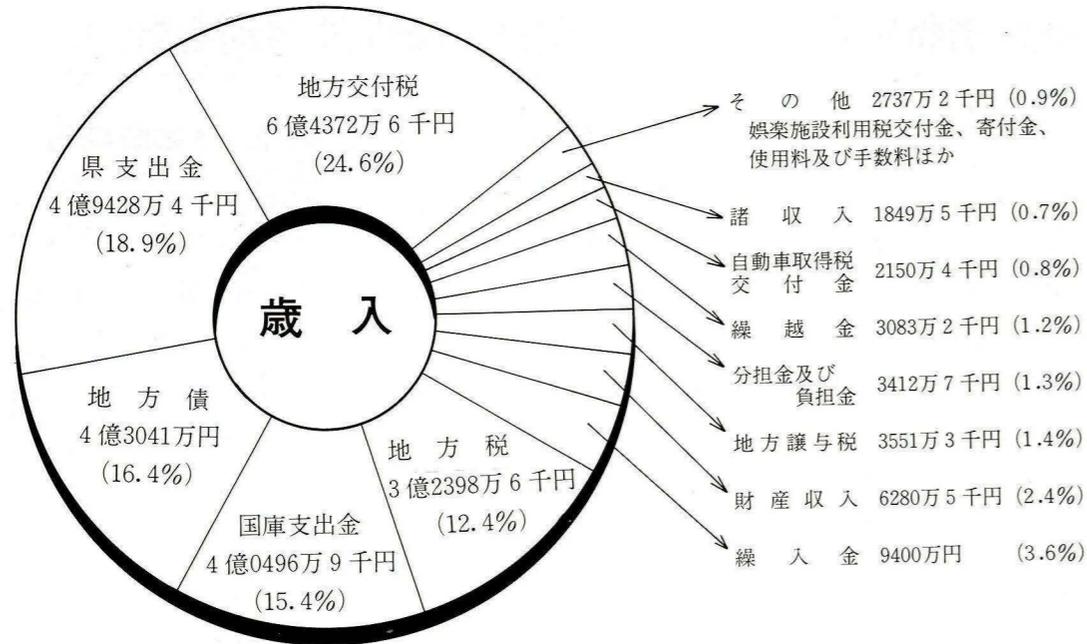
いくたびとなく発生した台風にもみ
 まわれず、黄金の稲穂が泗水平野を一
 面に色どりました。

現在は、ほとんどの稲田がコンバイン
 等できれいに刈り穫られて、このあ
 とはやがて裏作の植付準備がはじまる
 ことでしょう。

翌年の豊作を祈る古い習慣、木守柿
 でしょうか、柿の実一つ秋陽をうけて
 鮮やかでした。

霜
 月
 日

昭和55年度 一般会計 26億2202万円収入



地方債の現在高 一般会計

借入先	金額
政府資金	1,200,776千円
(1)資金運用部	835,259
(2)簡易保険局	365,517
公営企業金融公庫	136,400
政府関係機関	23,250
市中銀行	67,020
その他の金融機関	150,199
共済組合	56,364
その他	82,458
計	1,716,467

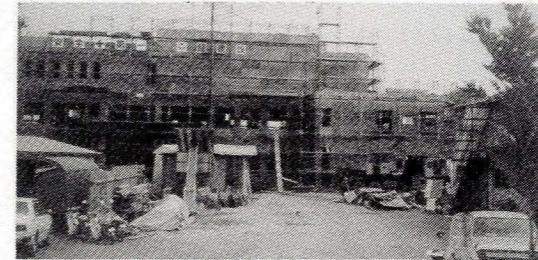
55年度における町民 1人当りの税負担状況

区分	金額
町民税	14,059円
固定資産税	12,472
軽自動車税	836
たばこ消費税	2,527
電気税	2,162
特別土地保有税	236
計	32,292



※56. 3. 31現在人口10,033人

25億6960万円が支出されました



九月の町定例議会で五十五年度の決算が認定されました。町の予算がどのようになものに使われたのかを地方自治法の規定によりお知らせいたします。

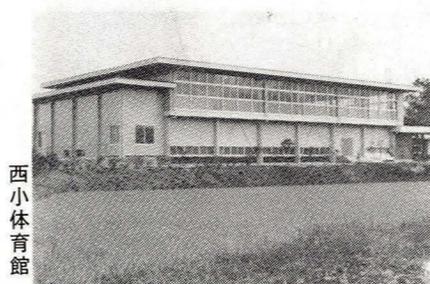
- 総務管理費 3億4943万円 (庁舎建設費 1億6525万6千円)
- 徴税費 2792万1千円
- 戸籍住民基本台帳費 1271万6千円
- 選挙費 統計調査費 617万5千円
- 監査委員費

- 社会福祉費 1億8848万4千円 (老人福祉費 老人ホーム費)
- 国民年金費同和対策費
- 児童福祉費(保育所措置費等) 1億7601万1千円
- 災害援助費(8・30水害復旧) 3092万5千円



- 農業費 5億8348万9千円
- 農村環境整備事業費 2億3512万1千円
- 構造改善事業費 1億6397万6千円
- 同和対策費 5163万9千円
- 農業振興費 3515万8千円
- 農業総務費 3069万円
- 畜産業費ほか 6690万5千円
- 林業費(造林事業) 1756万6千円
- 水産業費 10万円

- 小学校費 1億6283万7千円
- 社会教育費 7494万2千円
- 保健体育費 5799万8千円
- 中学校費 3092万4千円
- 教育総務費 2181万円
- 幼稚園費 1513万9千円



西小体育館

- 道路橋梁費 2億1831万5千円
- 住宅費 1億1324万3千円 (公営住宅建設費)
- 土木管理費 2857万3千円
- 河川費 157万8千円



55年度 特別会計決算のあらまし

農業共済特別会計

(1)農作物共済勘定	
歳入	86,467千円
歳出	62,740千円
(2)蚕繭共済勘定	
歳入	2,759千円
歳出	2,336千円
(3)家畜共済勘定	
歳入	54,152千円
歳出	49,365千円
(4)業務勘定	
歳入	39,180千円
歳出	25,025千円

国民健康保険特別会計

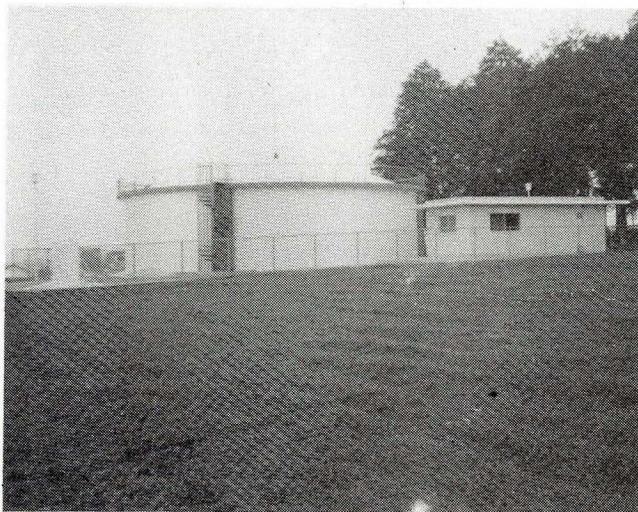
歳入	5億1683万4千円	歳出	4億8574万円
(内訳)		(内訳)	
国民健康保険税	171,769千円	総務管理費	19,276千円
国庫負担金	239,246	徴税費	2,799
国庫補助金	62,625	運営協議会費	188
財産運用収入	4,932	趣旨普及費	857
繰越金	30,681	療養諸費	449,421
延滞金及び過料	91	助産諸費	3,680
預金利子	2,914	葬祭諸費	385
雑入	4,570	保健施設費	256
		基金積立金	4,932
		償還金還付加算金	3,946

水道特別会計

1. 収益的収支	
収入	60,052千円
支出	52,298千円
2. 資本的収支	
収入	342,810千円
支出	335,885千円

住宅新築資金等特別会計

収入	1,651千円
支出	1,499千円



町上水道第二配水池 (桜山)

職員異動のお知らせ

町の機構改革に伴う人事異動が、十月一日付で発令されました。役付以上の異動者及び昇格者は次のとおりです。

- 企画審議員 松岡典二(町民課長)
- 町民課長 南 守(農業共済課長)
- 民生課長兼同和对策室長 園田頼朝(同和对策室長)
- 耕地課長 牧野洋一(議会事務局長)
- 議会事務局長 丸山嘉幸(水道課長)
- 総務課行政係長 松岡一俊(総務課総務係長)
- 税務課町民税係長 仁志正幸(経済課農林商工係長)
- 税務課国民健康保険係長 安武哲哉(税務課徴収係長)
- 民生課福祉係長 井本洋一(税務課賦課係長)
- 老人ホーム係長 林 益男(総務課車輛係長)



ご苦労さまでした

十月五日付で退職されました。志水 司(元社会課長)

新職員です

よろしく

十月一日付で役場職員として採用されました。町民課 上田敏雄(久米一) 総務課 古川智恵(高江)

隊員表彰

おめでとう

本町田中出身の自衛隊員、栄業智宏さん(二十二才)が、入隊先の防府航空自衛隊(山口)において、新隊員課程の学力・体力等の成績が最優秀であったとして、第一航空教育隊司令よりほう賞状を授与されました。

栄さんは、泗水中から菊池高にすすまれ、五十二年に卒業され、熊本市内の会社に就職、一年ほど自営のち五十六年五月航空自衛隊に入隊、所定の課程を修了されたものです。

社会教育だより

地域住民の連帯感を考える

今日の社会情勢の激しいおり、地域住民の連帯感づくりがきげばれており、そもそも地域の人々の間に連帯感が生まれてくるというのは、具体的な問題があって、その解決のためには互いが協力し、努力し、あるときは成功し、あるときは挫折して、成功したときにはお互いに泣いてくやしがらる。場合によってはケンカもする。こう

いう繰返しの中で共通の経験が積み重ねられ、その間で次第に信頼と連帯感が培われるというのが一般的な筋道でしょう。そういう意味で、新しい地域社会づくりは、具体的な問題を巡り取組み知恵を出し、工夫をし一步一步進める中から生まれてくるということが大切だと思います。



現在は、芦屋の第三術科学校で設備機器課程学生として技能を修

得中です。今後の御精進を期待します。

事務所移転のお知らせ

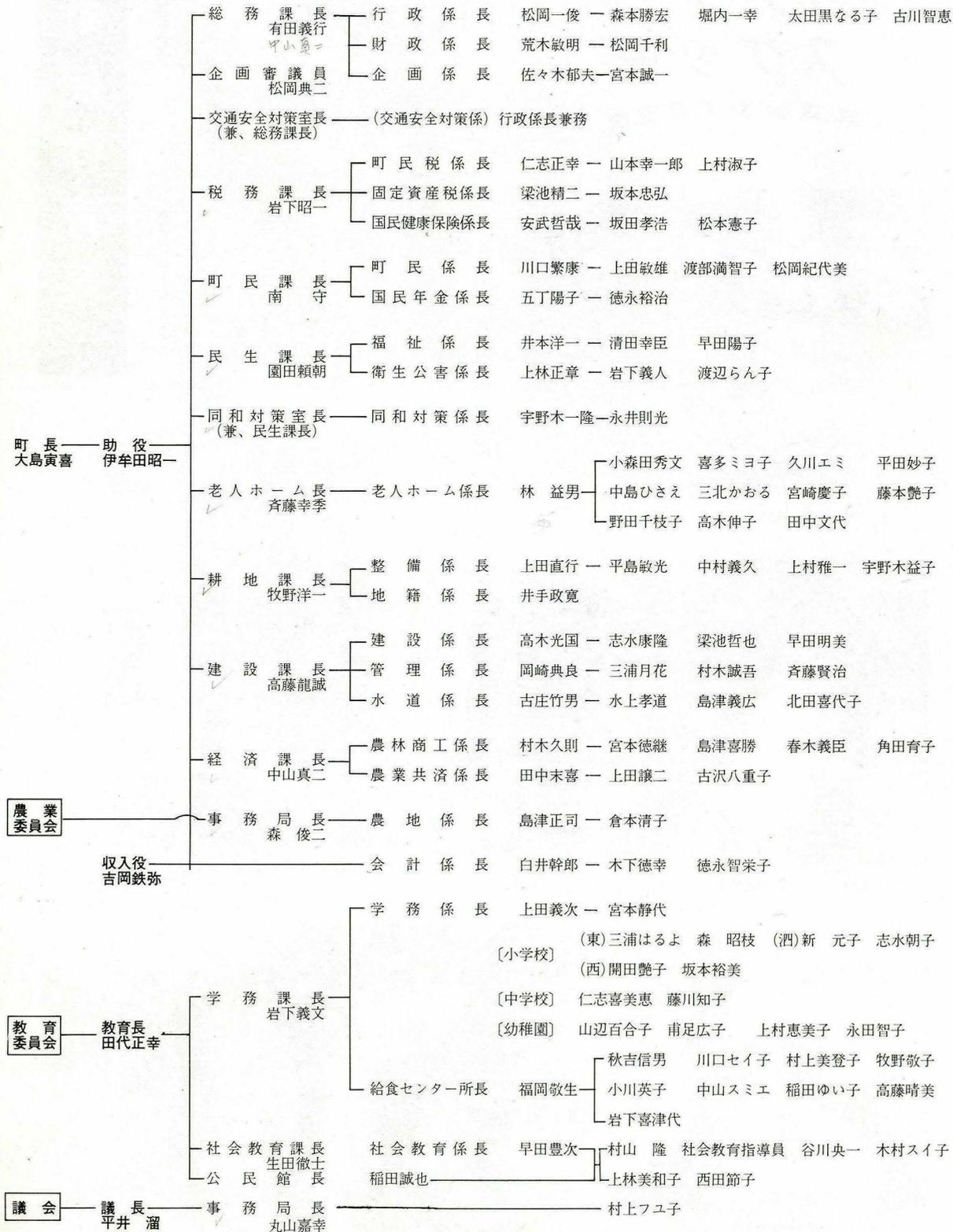
社会福祉協議会は、十月一日より左記に移転いたしました。

移転先 泗水町農村環境改善センター内

TEL ⑧二二五八 (有)二三三二



泗水町の課別職員構成 (S 56.10.1 現在)



監査委員事務局は議会事務局、選挙管理委員会は総務課がそれぞれ兼務

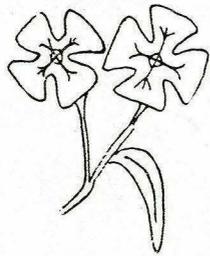
庁舎内機構案内 (56.10.1より)

	課(室)名	分掌	事務
1階	町民課	町民係	戸籍・住民登録, 外国人登録, 印鑑証明, 各種証明, 自衛官募集, 町民相談
		国民年金係	国民年金
	民生課	福祉係	福祉全般, 生活保護・援護, 青少年育成
		衛生公害係	保健衛生, 環境衛生, 公害
	同和対策室	同和対策係	同和対策事業総合計画調整, 住宅新築資金貸付
	税務課	町民税係	町民税
	固定資産税係	固定資産税, 台帳等閲覧, 納税証明書	
	国民健康保険係	国民健康保険事業	
2階	収入役室	会計係	会計事務全般, 用度物品管理
	耕地課	整備係	農業構造改善事業, 土地改良事業, 農村総合整備モデル事業
		地籍係	地籍調査, 公有財産登記
建設課	建設係	道路橋梁の新設改良, 町営住宅建設, 災害復旧事業, その他土木一般	
	管理係	道路橋梁の維持管理, 河川, 水防, 建築一般	
	水道係	上水道事業全般	
2階	総務課	行政係	庶務一般, 人事, 給与, 条例, 規則, 防災消防, 庁用車両管理
		財政係	予算, 決算, 町有財産管理, 町営住宅管理, 用度
		企画係	町振興計画, 町政の企画調整, 各種統計調査, 国土利用, 広報, 企業誘致
2階	経済課 (農業委員会)	農林商工係	農林漁業振興, 商工観光振興, 町有林育成, 営農指導全般
		農業共済係	農作物, 蚕繭, 家畜, 園芸施設共済事業全般, 建物共済事業
	農地係	農用地管理, 農政, 農業者年金	
2階	学務課 (教育委員会)	学務係	学校教育事務全般, 教育委員会事務全般
3階	議会事務局		議会全般, 監査全般

はたちデス よろしく



住所 泗水町大字住吉四五三八
氏名 藤本和代
職業 学生



○好きな花は
コスモス
○趣味、特技
音楽鑑賞
手芸
○理想の男性
たくましい人
○日常心がけていること
笑顔を忘れないこと

おいせ 11月

教育委員長に
寺土至誠氏(上高江)
新教育委員に
松田義範氏(岡)

右は、教育委員岩下義臣氏の任期満了にもなつて退任されたその後任として選任されたものです。

民生課だより

十月一日〜十一月三十日まで麻薬、覚せい剤禍撲滅運動実施

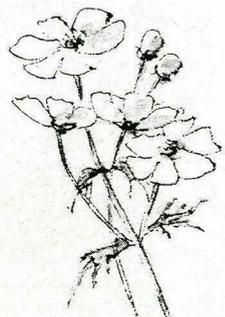
麻薬、覚せい剤等の乱用は、個人の心身を腐敗させるばかりでなく各種の犯罪を増加させ、社会の福祉に凶り知れない害毒を及ぼすものであることにかんがみ、麻薬覚せい剤等の害に関する認識を広く一般に周知させ、国民が一体となつてこれに立ち向かう態勢をつくり、もつて麻薬、覚せい剤等の乱用による弊害の根絶を期することを目的として実施されます。

熊本婦人のつどい開催について

婦人の地位の向上に資するため婦人自らが意識し、また行動して男女平等が実現されるよう婦人のつどいを開催し、意識の高揚を図ることを目的として左記日程により開かれますのでお知らせします。

母子、寡婦世帯に対する相談所の開設について

県母子協議会主催により左記日程の通り相談所が開設されますので御利用下さい。
一、日時 五十六年十一月二十日(金)午前十時より
二、場所 県菊池事務所三階会議室
三、相談内容 法律・生活・教育・雇用・その他



自動車税について
お知らせ
○車をゆずったり、売ったりした場合誰が納めるのですか。
◇四月一日現在の車検証の名義人が納めることとなります。
○まっ消登録、移転登録とはどういうものですか。
◇使用しなくなった車について、事実を届け出ることです。「まっ消登録」を完了されませんと、いつまでも自動車税がかかります。「まっ消登録」をされますと、その月までの月数に応じて納めればよく、早く手続されますと納める額が少なくなります。
◇移転登録とは車を譲った場合の手続です。この手続を怠りますといつまでも名義人に税金がかかります。
※他人にまっ消登録や移転登録を頼まれた場合は確かめておくことです。よくトラブルが発生しますので、ご注意下さい。

町民体育祭

- 成績は次の通りです。
- 部落対抗リレー
 - 60世帯以下
 - 1位 久米二 三万田
 - 2位 田島二 久米一
 - 3位 田中 富
 - 61世帯以上
 - 1位 永出分 久米一
 - 2位 田島一 三万田
 - 3位 平野 村吉
 - つな引き競技
 - 60世帯以下
 - 1位 永出分 久米一
 - 2位 田島一 三万田
 - 3位 平野 村吉
 - 61世帯以上
 - 1位 永 久米一
 - 2位 富の原 久米一
 - 3位 上住吉 久米一
 - 混成バレーボール
 - 1位 富納
 - 2位 平野
 - 3位 飛熊 佐野
 - 男子バレーボール
 - 1位 福本一A
 - 2位 富出分
 - 3位 村吉 南住吉
 - 女子バレーボール
 - 1位 永
 - 2位 富の原
 - 3位 上住吉 久米一

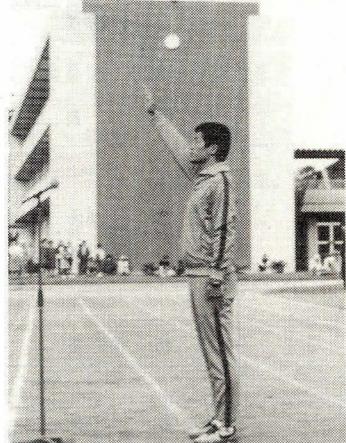
カメラ スケッチ



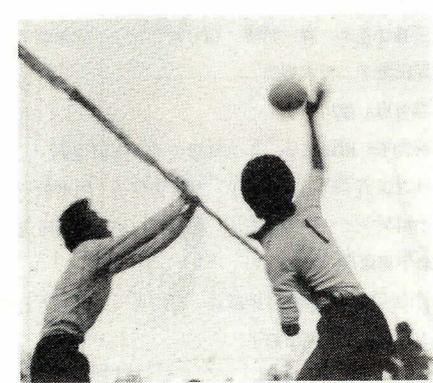
力走する選手



力のはいる綱引競技



選手誓宣 倉満一成選手



アタックなるか?



堂々の入場行進

税務課だより

税を知る週間

小学生に四十万九千円、中学生に四十九万九千円、高校生に五十六万六千円。これは、昭和五十四年度で国や地方公共団体が負担した公立学校の生徒一人当り、一年間の教育費の額です。

国や地方公共団体は、このような教育活動のほか、道路や橋の建設、警察、消防など、私たちが豊かで幸福な生活ができるように幅広い活動を行っています。

税金は、このような国の活動の大切な財源になるのです。

私たちは、毎日の生活と深いかわりをもっている「税金」について、その仕組みや使いみちを十分に知る必要があるのではないのでしょうか。

このため、全国の国税局、税務署では、十一月十一日から十七日まで一週間で「税を知る週間」として、税に関する資料展や臨時



の税務相談所の開設、中学生・高校生が書いた税に関する作文の表彰などを行います。

また、税理士会、日本税務協会、青色申告会、法人会、間税協力会、納税貯蓄組合などの民間団体においても、講演会、税法の説明会、座談会などを開催することが予定されています。

年末調整

十二月は、源泉所得税の年末調整の月です。

サラリーマンの給与にかかる所得税は、毎月の給与やボーナスの支給の時に源泉徴収されています。ところが、毎月の税金は、その月の給料等に対する税金で、概算的なものですから、一年間の給与総額に対する正当な税額(年税額)とは一致しないのが普通です。

このため、その年最後に給与の支払を受ける時に、その差額を精算する必要があります。この手続を「年末調整」といいます。大部分のサラリーマンは、この年末調

町民課だより

わたしたちと国民年金

国民年金は、毎年改善が重ねられ、いまでは私たちの生活と切り離せない制度となっています。

現在、県内で国民年金に加入している人は約五十万人で、国民年金を受けている人は約二十三万四千人となっています。この国民年金の加入者と受給者の数を県人口との割合で見ますと、県内の二十才から五十九才までの人の二人に一人は国民年金に加入し、六十五才以上のお年寄り十人のうち八人は国民年金を受けていることとなります。

また、昭和五十五年度の一年間に県内の国民年金加入者の人たちが納めた保険料の総額は、約二百十七億円、一方支払われた年金の総額は、拠出年金と福祉年金を合

今月は国民年金推進月間です

無縁墓地について

愛知県春日井市堀ノ内町四三二番地にあります墓地が、墓地廃止に伴う移転のため改葬されます。縁故のある方は同県環境衛生課衛生指導係、電話〇五二一九六一―一二一―一内線三二五二へご連絡下さい。

また兵庫加古川市神野町石守字整理四〇〇番地から四〇一番地二同字敷池三三四番地にあります無縁墓地が、環境整備のため改葬されるむね連絡がありました。縁故関係のある方は、同市神野町石守一―二五番地、石守墓地管理組合、電話〇七九四―二四一〇―一三四番にご連絡下さい。



整の月です。

サラリーマンの給与にかかる所得税は、毎月の給与やボーナスの支給の時に源泉徴収されています。ところが、毎月の税金は、その月の給料等に対する税金で、概算的なものですから、一年間の給与総額に対する正当な税額(年税額)とは一致しないのが普通です。

このため、その年最後に給与の支払を受ける時に、その差額を精算する必要があります。この手続を「年末調整」といいます。大部分のサラリーマンは、この年末調

きた行政的責任をとらせる。

また、昭和五十五年度の一年間に県内の国民年金加入者の人たちが納めた保険料の総額は、約二百十七億円、一方支払われた年金の総額は、拠出年金と福祉年金を合

◆水平社の運動と糾弾

水平社の運動は、部落の人びとにたいする糾弾(あやまちを問いただし、なおさせる)として実践にうつされました。この闘いとおして部落の人びとの自覚を高めるとともに、団結の力が強大であることをさとらせ、また、世間の人たちには、部落にたいする偏見をあらためさせる大きな働きをしました。しかし、こうした水平社の運動には、差別はもつとも遅れた人が封建的な観念にわざわいされているのだという、つまり差別を観念としてとらえていました。

だから、差別した人を糾弾し謝罪文を書かせることがおこなわれました。しかし、差別観念をつくり出しているものは何かということを見ぬいていませんでした。

同和教育シリーズ ⑰

一、差別をした人には、真の自己批判を促し、解放への協力者に変革する。

二、糾弾会に集まった一般労働者、市民には、差別することは、結局自分を差別し不利益をもたらすということを理解させて、ともに闘うようにしていく。

三、部落の人びとには、部落民としての自覚をよびおこし、差別の本質を理解して、解放へむかっの決意をかためる。

四、行政には、部落差別を許して

◆糾弾と国粋会

一九七三年(大正十二年)奈良県で、差別糾弾にたいし、右翼暴力団国粋会が妨害し、水平社を襲いました。部落の人たちは立ちあがり、命がけで糾弾闘争を展開しました。(文書は部落解放同盟熊本県の編さん資料より)

部落紹介シリーズ 富出分

(提供者) 区長 古田博泰

神社は九百五十余年前の建立、現在の建物は三百年前のものとされ、彫刻などすばらしく、大切な文化財であり、区民の信仰も厚い。毎月一日と十五日には交替で、各組、老人会、子供会と挙げて清掃美化につとめ、例祭など厳かに行なわれている。数十本の梅は子供会の運営資金として活用されている。

富出分の人々は昔から働き者揃い

善意の寄付金

次の方々より、町社会福祉協議会に寄付をいただきましてお礼を申し上げます。紙上をおかりしてお礼を申し上げます。

- 香典返し 村吉 橋本信幸氏 亡(妻禮子56才)
- 香典返し 老人ホーム 藤本徳義氏 亡(母サキヨ87才)
- 香典返し 桜山区 星野家 亡(星野信敏66才)
- 香典返し 久米一 小川清長氏 亡(父 泉84才)
- 香典返し 上高江 内田貞臣氏 亡(妻ミツ83才)
- 香典返し 久米一 小川則光氏 亡(父未熊77才)
- 香典返し 富ノ原甲斐熊五郎氏 亡(妻マツエ82才) (10月21日まで)
- 泗水町社会福祉協議会



写真はちのわ神事

で、特に戦前戦後を通じ、養蚕などは泗水一を誇り、忙しさを克服して今日の生活の基盤を築いたものと言えよう。現在は米作の外、酪農、そ菜、花卉など、多角経営に余念がない。

従来、富出分は便利な田畑に恵まれてきたが、近時交通量の増大に伴い、竹の下三叉路が危険地点として、農産活動に大きな障害となってきた現状から、区民挙げての懇望により、町当局と地元出身の県議の方の格別御尽力で、県営の泗水中央農免道が計画され、一億数千万円の予算で着工二年目を迎えた。富方面より神社横を通り、熊本電鉄をまたがり、牛乳集荷所附近に通ずる道路の完成の暁には、区民はもとより、多くの人々の利便を増し、陸橋は町の名物ともなり、まさに画期的な一大事業ともいえよう。

富出分は、もともと四十八戸前後の固定した小部落であったが、近時六十七戸に増大している。春秋二回の区民の運動会と各組対抗のパレーの試合は、老若男女全員参加で、親和懇親に大いに役立っている。

現在懸案となっている公民館の新築拡充とゲートボール場の新設などは急がるる処、目下委員を選出して、その実現に向かって鋭意研究中である。

郵便局からの
お知らせ

一、年賀葉書の発売
本年度は、十一月五日(木)から発売します。早目に購入してください。

○寄附金なし 四〇円
○寄附金つき 四一円

二、あて名は詳しくはつきりと

郵便物にとって、あて名はいいです。せつかくのお便りが、届かないことのないように、詳しくはつきりお書きください。

三、転居届は、郵便局にも

転居されるときは、郵便局にも転居届をお出しください。

告知板



11月行事

- 3日 町文化祭(町営体育館) 9:00~20:00
向陽台高校文化祭(新日本紡績KK内) 13:00~
- 4日 町文化祭(町営体育館) 9:00~12:00
臨時議会
- 5日 古庄議員発刊発起人会
- 6日 たばこ収納はじまる
- 15日 郡体力づくり大会(菊陽町)
町自衛隊隊友会総会(泗中体育館)
- 16日 地域商政こん談会(役場)
- 19日 婦人学級(改善センター)
- 20日 高令者学級(東部・東小学校) (中央・改善センター)
- 21日 高令者学級(西部・西小体育館)
- 22日 公民館結婚式(2組)
- 23日 公民館結婚式
- 24日 納税日(固定資産税4期)
- 25日 納税日(")
農業委員会(役場)
- 26日 県農業コンクール審査会(福本一)
菊池地方ふるさと振興推進大会(菊池市)
- 28日 国保優良家庭表彰式(役場)
- 29日 県子ども会大会(菊池市)

短

歌

十月泗水短歌会詠草

群鳩棲む橋朝行けば羽づくらひし
たる抜け羽が風なきに舞う

福原美智子

転居届の用紙は、郵便局のほか、役場の窓口にも備えてあります。普通のはがきでも結構です。

四、各戸に表札と郵便受箱を

大切な郵便物を確実にお届けするため郵便受箱をお付けください。受箱は郵便局であつせんしてお

ります。

温かい心のふれあい 手紙から

根づきよき早苗田めぐり落つる水
樂しむごとき音絶ゆるなく

増田久美子

夏の午後音立て解くる氷片を浮か
せて壺に黄菊を活くる

古田のぶ子

願事叶へ給ひしお地藏に赤き胸当
掛けまゐらせつ 足立たつお

久々に映画マリコを一人見る夕べ
静かに心満ちくる 勝又千代子

颯風は夜半に來りて瓦打つ柿の落
実の音喧し 宮本 峯子

食細りいくばく食まむ大根と思へ
ど播けば畑に手入す 大島 さと

仲人として着たる日も幾度か留袖
を干し亡き夫を恋う 永松みつ子

素枯れ行く蔓も確かに持つ生気朝

顔赤き一輪咲かす 吉岡美奈子
母の日の祝の草履春たけて東京の
吾子送りくるとう 岩倉 烈子
都井の岬の野生馬も見つ小さき願
ひとつづつ成し我老いゆくか
藤本のり子

俳

句

せせらぎ俳句会十月例会

立田山観月

七曲り八曲り山路月高し

内田 貞臣

旅衣そのまま月の筵まで

坂本 松枝

駆けつけて立田の月を拝みけり



編

集

を

終

え

て

内村 泊虹
内村 鈴子

十一月号のしすい広報をおとど
けいたします。

十月一日付で、町の機構改革に
ともなう職員の大巾異動が発令さ
れましたので、本号ではこのこと
の記事を中心に掲載いたしました。

しすい広報は十名の町職員が広
報委員となり、社会教育課におい
て編集発行されてきましたが、今
後広報は総務課企画係で担当編集
することになりましたので、よろ
しく願っています。

ことしの米作は、例年になく豊
作となり、天地の恵みに感謝する
ことを忘れてはならないと思いま
す。

いよ／＼寒さがつります。カ
ズなどにかからないよう、日常か
らからだづくりにつとめましょう。

